

会議の名称	第4回茅野市行財政審議会		
開催日時	令和4年1月18日(火) 18時00分～19時30分		
開催場所	オンライン及び茅野市議会棟大会議室		
出席者	※出席委員等：会長、守屋副会長、小平委員、宮坂委員、半田委員、鈴木委員、藤野委員、唐澤委員、伊原委員、大川委員、両角(博)委員、丸茂委員、柿澤委員 ※市側出席者：柿澤副市長、小平企画部長、平澤財政課長、有賀P推進課長、野明人材育成担当、小田島財政係長、田中企画課長、矢島行革・デジタル係長、藤澤主査、功力主査		
欠席者	高木委員、鶴石委員		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
	議事 1 開会 2 挨拶 3 会議内容 (1) 委員からの提案・確認事項について 資料5 * 説明及び質疑 (2) 茅野市の行財政の課題整理について 資料1～3 * 確認及び質疑 (3) 茅野市の行財政の望ましい姿について 資料4 * 委員の意見を反映し事務局で修正する 5 その他 * 次回審議会は2/3(木)18:00～予定 オンライン会議 6 閉会 議事録 事務局 1 開会 2 挨拶 会長 新型コロナウイルス感染症の拡大により、今回からオンライン形式としている。スムーズな進行に協力いただきたい。 3 会議内容 (1) 委員からの提案・確認事項について 資料5 ・・・資料5に基づき説明・・・ 説明にあった健全財政に係る4つの指標は、第1回審議会で提示された財政推計では触れられておらず、推計期間を通して財政再生基準に該当する見込みとはなっていないのでは。そうであれば、市としてどの時点を不健全と判断するか示してほしいというのが質問の趣旨である。 柿澤副市長 基本的な考え方として、経常収支比率を見ていくことが一番と考えている。現在、市の財政状況は、決まりきった支出に対して収入を充ててお		

委員	り、新規事業に充てる財源がほとんどない状況。そのため新規事業に対して基金取り崩しにより対応している。経常的な支出をどれだけ削減し、新たな投資に回すかが大きな課題になってくる。
柿澤副市長	<p>それであれば財政推計の中で、経常収支比率をどうしていきたいのか、具体的に示してほしい。</p> <p>特に歳出では、補助金の見直しなどにより、既得権化している部分に、メスを入れていかないと、弾力性のある財政になっていかない。ご指摘の部分も今後資料を用意したい。</p>
委員 事務局 委員 委員	<p>(2) 茅野市の行財政の課題整理について 資料 1～3</p> <p>・・・資料 1～3 に基づき説明・・・</p> <p>資料 1～3 の記載内容はそれぞれの資料中で変更されているか。記載内容は各資料中変更されていない。</p> <p>課題の整理がされ、わかりやすくなったと感じる。</p> <p>地区・区が主体となる課題の中で、区財政の収入不足があるが、実際に区の収入がなくなった場合に市の補填があるのか。また役員の受け手がおらず、機能しなくなった場合も市の支援はあるのか。</p>
事務局	<p>区・自治会は市の傘下団体ではなく、任意の地縁の組織であり、自立運営が原則となる。市から協力要請を行うことはできるが、財政的な補てん等は想定されていない。</p>
委員	<p>審議会の当初に「担い手不足と財政硬直化の課題」が提示されていたが、今回の資料へどうつながっているかが分からなくなっている。</p>
事務局	<p>当初提示した「担い手不足と財政硬直化の課題」は例示である。それ以外に委員から提起された課題、問題点を整理し、資料 3 を作成した。</p>
会長	<p>委員から提起された課題、問題点を基に検討を行い、答申へつなげていきたい。</p>
事務局 委員	<p>(3) 茅野市の行財政の望ましい姿について 資料 4</p> <p>・・・資料 4 に基づき説明・・・</p> <p>書かれている内容が、差し障りがなく、耳障りが良い言葉が並んでいる印象である。人口減少社会や、縮小均衡という言葉以外は、10年20年前であっても同じ、何ら変わらない行政の基本の考え方が書いてあるだけだと感じる。これから本当に痛みとか、厳しさを分かち合う必要があるという危機感や、新しい仕組みを作る気概がほぼ感じられない。メッセージ性があり、今だからこそ望ましい姿があった方が、今後の具体策を考える上でも有用である。</p>
会長	<p>キーワードや、言い回し等ふさわしいものがあれば、会議後でもよいので、提案いただきたい。</p>
委員	<p>課題の整理により、全体で何を検討しているかが分かりやすくなってきたが、望ましい姿の表現は伊原委員と同様に感じている。それに向けた対策の検討が次回以降の議題となるが、そこに早く進みたい。これまで通りを維持できないのであれば、取捨選択を行う判断軸が必要になってくる。若者に選ばれるまちといったキーワードもあり、世代間でもそういった検討が出てくる。そういったことをすべての人に対して耳障りよく検討するのでなく、批判覚悟の選択をこの委員で議論できることを期待している。</p>
委員	<p>提示された資料は当たり障りないことが確かに書かれているが、これについて議論の時間をあまり割かず、地域で住民が実施している活動につ</p>

委員	<p>いて、法令による活動かまたは任意の活動であるのか列挙して、継続する又は継続しないといった議論を早くしたほうが良いと感じる。</p> <p>先ほども意見があったが、具体的な選択判断の議論へ早く進められるとよいと思う。また、冒頭に財政指標の説明があったが、現状それほど厳しくないのではと感じたが、楽観視できないと思われるので、具体的な議論に入ると良いと思う。</p>
委員	<p>課題の整理はだんだんにできているが、まとめていくと柔らかい表現で、綺麗にまとめているようにしか見えない。茅野市独自で、メスを入れなければいけない部分を厳しく指摘してもよいのでは。具体的な議論で個別の話題が出ると思うので、議論を先へ進めていった方が良いと思う。</p>
委員	<p>記載されている字句が、暗い内容になっている。「人口減少社会」や「縮小均衡」といった言葉ではなく、別な言葉が良いと思う。また、「若者に選ばれるまち」も入れたいと感じる。「必要十分」という表記も十分という状態はありえないので、「必要」だけでよい。</p>
委員	<p>茅野市にとって望ましい姿という、主体性が必要だと感じるし、描いている時点や、何年後を目指した姿か時間的な要素が必要だと思う。もう1点、別途資料出ししているが、自助・共助・公助の意味合いが時代で変化しており、相互扶助は互助とされ、自助・互助・共助・公助と言われている。用語の定義や内容について精査が必要である。</p>
委員	<p>議論の行きつくところは、財政運営と、共助の維持になると思う。財政運営では、歳入の確保と、歳出の削減に分かれる。歳入の確保は、税収確保のために雇用を増やす、雇用を生むために産業を育てるといった手法が必要である。雇用を維持するためには移住施策がまず必要になってくる。また、子どもたちが都会に出て帰ってきて欲しいので、長期的な取り組みとして進めていく必要がある。歳出削減は市民サービスの低下を含むが、市がしっかり説明をし理解を得て削減していくことが必要。人口減少は止められず、それを前提にせざるをえない。どの程度の削減が必要か、市から提示をしてもらいたい。もう一つ共助の維持は、高齢者や子どもが、安心して暮らせることが一番の目指すところだと思う。そのためにDXが必要で、漏れてしまう人たちもいるが、組織としてDXを使う中で対応していくことが必要。どこの自治体でも同じ課題を抱えているが、茅野市の特徴である、多岐にわたる雇用や、観光を生かした、茅野市独自の取り組みに向けた提言を検討すべきと感じている。</p>
委員	<p>多くの課題が整理されたが、依然抽象的な状態。この審議会がすべて解決するわけではないが、財政が厳しい中で解決すべき課題を、どのようにまとめていけばよいか気がかりである。結局、告知や広報が重要であり。どこを我慢してもらう必要があるのか、どこを見直したいのか、どこを削減したいのか、その広報を市が主体で行い、市民理解を得ていく必要がある。今の段階では、耳ざわりの良い言葉の羅列である。</p>
会長	<p>この審議会の議論や今後検討する方針が、どこへ影響していくか事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>来年度、市の最上位計画である総合計画の策定が予定されており、その方向性として本審議会の答申を反映していきたい。</p>
会長	<p>総合計画や、行政経営基本計画、公共施設再編計画に、特に意見が反映されると認識している。本日検討に上がった望ましい姿は事務局で修正等行うが、その姿に近づけるために、何をしていくか次回以降に意見集約して答申していきたいと考えている</p>

委員	本日提示された望ましい姿が答申に上がっていくとしたら、委員としては非常に消化不良に感じる。今後の扱いについて確認したい。
会長	本日のたたき台では、盛り込みが足りないと感じる。会議後にご意見をいただき、また次回に修正案を提示したい。それと並行して望ましい姿に向けた対策の検討を進めたい。
委員	並行審議でよいと思う。望ましい姿についてこれから意見を出して、反映できると理解した。
柿澤副市長	先ほども出たが、自助・共助・公助の定義についてもあいまいである。そこについても審議いただきたい。公助の部分も、行政がどこまでサービスを行うのかその境界線や、協働で行う部分を検討していく事で行政サービスの水準の判断へ繋がってくると思う。委員の意見をしっかりお聞きして整理したい。
委員	答申はどの程度具体性があるものを提出するのか確認したい。完成形の姿がイメージできていない。
小平部長	行財政の改革方針の検討が、本審議会へ依頼している事項となる。その方針には、望ましい姿に向けた取組の項目出しを予定している。例として財政運営であれば、財政の健全化に向けて、今後計画期間内に歳入確保で1億5000万円、歳出削減で1億5000万円ぐらいを減らす、というような目標設定や、それに向けて、具体的にはどんな項目で対応していくといった項目出しを想定している。来年度には、例えば補助金の見直しによって補助事業の終期設定や対象の見直し等具体的な内容をご審議いただくが、今年度は大枠の考え方を審議会で整理していただきたい。
委員	委員それぞれ具体的なアイディアがあると思う。個々のアイディアはあるが、それを項目にまとめたものでよいか。
委員	行財政審議会が過去に策定した答申を参考に、イメージすることができるのでは。
部長 副会長	過去の答申について資料を用意したい。 早期に提示をしたい。
事務局	5 その他 次回審議会は2月3日(木)18時開始を予定。本日検討いただいた望ましい姿についてメール等でも意見をいただき、修正案を提示したい。
会長	意見をいただくのに様式があるとよい。また、次回は、行財政の現状と、望ましい姿の乖離について、どのような見直しや対策があるかを検討していくこととなる。
大川委員	過去の答申が、どの様に反映されたかわかる資料を用意してほしい。
副会長	6 閉会 新型コロナウイルスが感染拡大している中オンライン形式も併用して開催した。いただいたご意見を反映して次回提示資料を作成したい。

以上